年間授業計画 新様式

東京都立農産高等学校 令和７年度（２学年用）　教科　家庭　科目 家庭基礎

教　科：教科　家庭　　科　目：　家庭基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2　学年　N　組

使用教科書：（ 第一学習社　「高等学校　家庭基礎　持続可能な未来をつくる」　）

教科　家庭　　の目標：

【知識及び技能】　人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と生活との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目　　家庭基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	これからの衣生活 【知識及び技能】 ・人生の節目の儀式などで被服を通して喜びや悲しみを表してきたこと、それらが伝統行事として伝承されてきたことについて多角的に理解する。 ・計画的な購入と、できるだけ長く被服を着用することが大切であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・伝統的な衣文化の特徴を理解し、これからの豊かな衣生活の創造に向けて行動する。 ・エシカルファッションに関心を持ち、持続可能な衣生活について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の衣生活が、近年、どのような変遷をたどって現代に至っているか、特に洋風化・既製服化を理解するために意欲的に取り組む。 ・江戸時代の循環型衣生活に関心を持ち、現在の衣生活にその知恵をいかそうとする意欲を養う。	・衣文化の継承と創造 ・持続可能な衣生活	【知識・技能】 ・人生の節目の儀式などで被服を通して喜びや悲しみを表してきたこと、それらが伝統行事として伝承されてきたことについて多角的に理解している。 ・計画的な購入と、できるだけ長く被服を着用することが大切であることを十分理解している。 【思考・判断・表現】 ・伝統的な衣文化の特徴を理解し、これからの豊かな衣生活の創造に向けて行動することができている。 ・エシカルファッションに関心を持ち、持続可能な衣生活について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の衣生活が、近年、どのような変遷をたどって現代に至っているか、特に洋風化・既製服化を理解するために意欲的に取り組もうとしている。 ・江戸時代の循環型衣生活に関心を持ち、現在の衣生活にその知恵をいかそうとしている。				
	経済生活をつくる 【知識及び技能】 ・政府・企業・家計の間の経済的なかかわり、およびそれぞれの役割を理解し、家庭経済および国民経済に関するしくみについて十分理解すること。 ・家計の破綻を防ぐためには、家計の収支を管理する必要があることを理解すること。 ・「家計簿の書き方」を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分のプランニングした人生を送った場合、いつどのくらいの費用が発生するか考え、判断すること。 ・家計収支のバランスをとることの大切さ、可処分所得の意味について考えること。 ・中期・長期の観点から生活設計を立案するために考えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人の一生にかかる費用について関心を持ち、それを営むうえで実践的な態度を身に付けること。 ・人の一生にかかる費用について関心を持つこと。 ・自分の将来について関心をもつこと。	・人生とお金 ・収入と支出のバランス ・将来の経済生活を考える	【知識・技能】 ・政府・企業・家計の間の経済的なかかわり、およびそれぞれの役割を理解し、家庭経済および国民経済に関するしくみについて十分理解している。 ・家計の破綻を防ぐためには、家計の収支を管理する必要があることを理解している。「家計簿の書き方」を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・自分のプランニングした人生を送った場合、いつどのくらいの費用が発生するか考え、判断することができている。 ・家計収支のバランスをとることの大切さ、可処分所得の意味について考えている。 ・中期・長期の観点から生活設計を立案するために考えることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人の一生にかかる費用について関心を持ち、それを営むうえで実践的な態度を身に付けようとしている。 ・人の一生にかかる費用について関心をもとうとしている。 自分の将来について関心をもとうとしている。	○	○	○	24
		定期テスト		○	○		

2学期	衣生活をつくる 【知識及び技能】 ・衣生活の充実・向上のための知識を身に付け、被服のＴＰＯをわきまえること。 ・被服の多様化に対して、自分らしい衣生活を維持・向上していくこと。 ・繊維→糸→織物・編物という加工過程、および繊維の種類と特徴について十分理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・若い人から高齢者まで各年齢層にふさわしい被服について多面的に思考・判断すること。 ・いろいろな場面にふさわしい素材や布の種類を多面的に考察すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・異なる年齢の人の衣生活に関心を持ち、その違いや特徴について知ろうとする意欲を養う。 ・被服材料に着目し、何を材料にするかによって、また、「織り方」「編み方」によって外観や性能が異なってくることに関心を持ち、衣生活に活かそうとすること。	・私たちと衣生活 ・被服の素材	【知識・技能】 ・衣生活の充実・向上のための知識を身に付け、被服のＴＰＯをわきまえている。 ・被服の多様化に対して、自分らしい衣生活を維持・向上していくことができている。 ・繊維→糸→織物・編物という加工過程、および繊維の種類と特徴について十分理解している。 【思考・判断・表現】 ・若い人から高齢者まで各年齢層にふさわしい被服について多面的に思考・判断できている。 ・いろいろな場面にふさわしい素材や布の種類を多面的に考察することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・異なる年齢の人の衣生活に関心を持ち、その違いや特徴について知ろうとしている。 ・被服材料に着目し、何を材料にするかによって、また、「織り方」「編み方」によって外観や性能が異なってくることに関心を持ち、衣生活に活かそうとしている。	○	○	○	34
	充実した生涯へ 【知識及び技能】 ・高齢化が急速に進むと、家庭生活においても、社会生活においてもさまざまな課題が生じることが理解する。 ・高齢者の身体的機能の特徴を理解する。 ・長年つちかってきた豊かな経験と知識・技能をいかして働くことのできる環境づくりが欠かせないことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢化が進んでいる実態を把握し、その原因と課題を探る。 ・高齢者体験などの試みを通して、高齢者の気持ち・立場を理解する。 ・生活経験の豊かな高齢者の話に耳を傾ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・高齢者の生活に関心を持つ。 ・加齢にともなう身体状況の変化に関心を持つ。 ・高齢化を自分自身の問題としてとらえる。	・超高齢社会を生きる ・人生のなかで高齢期をとらえる ・高齢期の生活	【知識・技能】 ・高齢化が急速に進むと、家庭生活においても、社会生活においてもさまざまな課題が生じることが理解できている。 ・高齢者の身体的機能の特徴を理解できている。 ・長年つちかってきた豊かな経験と知識・技能をいかして働くことのできる環境づくりが欠かせないことを理解している。 【思考・判断・表現】 ・高齢化が進んでいる実態を把握し、その原因と課題を探ることができている。 ・高齢者体験などの試みを通して、高齢者の気持ち・立場を理解できている。 ・生活経験の豊かな高齢者の話に耳を傾けることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・高齢者の生活に関心をもとうとしている。 ・加齢にともなう身体状況の変化に関心をもとうとしている。 ・高齢化を自分自身の問題としてとらえようとしている。				
		定期テスト		○	○		

3学期	次世代をはぐくむ 【知識及び技能】 ・新しい命は、社会の一員としてもかけがえのない存在であることが理解すること。 ・乳幼児期での、運動機能面のいちじるしい発達について理解すること。 ・子どもが健康でたくましく育つためには、家族・家庭のもとでの保育環境が重要であることを認識すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもを生み育てることの意義について理解すること。 自分の子どものころの様子を調べること。 ・乳幼児期における育て方が、その後の子どもの発達に大きな影響をおよぼすことを視野に入れること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・女性の場合は将来の出産に備えて、男性の場合は母性を保護する立場から、妊娠の成立や母体の変化への関心を持つこと。 ・子どもの体の発育・発達に関心を持つこと。 ・子どもを育てるとき、日常生活の中でどう接していけばよいかということに関心を持つこと。	・次世代をはぐくむ ・子供の発達 ・子供の生活	【知識・技能】 ・新しい命は、社会の一員としてもかけがえのない存在であることが理解できている。 乳幼児期での、運動機能面のいちじるしい発達について理解している。 ・子どもが健康でたくましく育つためには、家族・家庭のもとでの保育環境が重要であることを認識している。 【思考・判断・表現】 ・子どもを生み育てることの意義について理解できている。 ・自分の子どものころの様子を調べることができている。 ・乳幼児期における育て方が、その後の子どもの発達に大きな影響をおよぼすことを視野に入れている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・女性の場合は将来の出産に備えて、男性の場合は母性を保護する立場から、妊娠の成立や母体の変化への関心をもとうとしている。 ・子どもの体の発育・発達に関心をもとうとしている。 ・子どもを育てるとき、日常生活の中でどう接していけばよいかということに関心をもとうとしている。	○	○	○	20
	食生活をデザインする 【知識及び技能】 ・１日にどの栄養素をどれだけ摂取すればよいか、理解する。 ・食品群の考え方に立って、食品構成を考える。 ・家庭生活での食事の意義や役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・私たちの体をつくる「栄養素」と活動に必要な「エネルギー」との違いを考察する。 ・家族の性、年齢、身体活動レベルに応じた摂取量のめやすから、家族の食生活の課題に気づく。 ・家族それぞれの栄養と嗜好を知る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・１日にどれくらいのエネルギーと栄養をとるのが適切か、日常から関心を持つ。 ・いろいろな年齢に配慮した食事づくりの工夫に関する意欲を養う。 ・いろいろな年齢に配慮した食事づくりの工夫について、提案する。	・栄養バランスのよい食事 ・食品群と摂取量のめやす ・ライフステージと食事	【知識・技能】 ・１日にどの栄養素をどれだけ摂取すればよいか、理解している。 ・食品群の考え方に立って、食品構成を考えることができている。 ・家庭生活での食事の意義や役割を理解している。 【思考・判断・表現】 ・私たちの体をつくる「栄養素」と活動に必要な「エネルギー」との違いを考察できている。 ・家族の性、年齢、身体活動レベルに応じた摂取量のめやすから、家族の食生活の課題に気づくことができている。 ・家族それぞれの栄養と嗜好を知っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・１日にどれくらいのエネルギーと栄養をとるのが適切か、日常から関心をもとうとしている。 ・いろいろな年齢に配慮した食事づくりの工夫に関する意欲をもとうとしている。 ・いろいろな年齢に配慮した食事づくりの工夫について、提案しようとしている。				
	住生活をつくる 【知識及び技能】 住まいの設計や部屋づくりに関する基礎的・基本的知識を身に付ける。 ・住空間の設計にあたって、どのようなことに配慮すればよいか、平面図の作り方などについて基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・採光・通風・換気・防湿など室内環境について健康や衛生管理の面から見直し、課題を設定して思考・判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ライフステージにあった快適な住まいを追求し、住生活の充実・向上に意欲的に取り組む。	・平面図の活用 ・生涯を見通した住まいの工夫	【知識及び技能】 ・住まいの設計や部屋づくりに関する基礎的・基本的知識を身に付けている。 ・住空間の設計にあたって、どのようなことに配慮すればよいか、平面図の作り方などについて基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・採光・通風・換気・防湿など室内環境について健康や衛生管理の面から見直し、課題を設定して思考・判断することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ライフステージにあった快適な住まいを追求し、住生活の充実・向上に意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	
							合計 78